

《年号表記について》

今後、元号の変更が予定されていますが、本計画の策定時点では新元号が決まっていないため、表記の連続性および分かりやすさの観点から、和暦で表記する箇所については平成の表記としました。

なお、西暦との対応関係は以下のとおりです。

平成 30 年度 (2018 年度)	平成 33 年度 (2021 年度)	平成 36 年度 (2024 年度)
平成 31 年度 (2019 年度)	平成 34 年度 (2022 年度)	平成 37 年度 (2025 年度)
平成 32 年度 (2020 年度)	平成 35 年度 (2023 年度)	